

日 時	令和3年4月26日(月) 13:30~15:00
出席者(応対者)	市長、企画部長 事務局
相 手	なめがた未来のまちづくり協議会委員 16名 構想日本 3名
場 所	玉造庁舎2階第1会議室
主 旨	第1回なめがた未来のまちづくり協議会
内 容	<p>件名につきまして、別紙のとおり開催いたしました。</p> <p>1. 開会 司会：政策秘書課長</p> <p>2. 委嘱状交付 交付代表：羽鳥委員</p> <p>3. あいさつ 市長</p> <p>4. 委員等の自己紹介</p> <p>5. 議題</p> <p>(1) 役員の選出について 会長：秋山委員 副会長：倉河委員</p> <p>(2) 総合戦略の更新及び当協議会の役割について 事務局より 質疑 委員：自治基本条例と関係があるのか。 A. 市民協働の考え方のもと実施していく</p> <p>委員： ・これまで事業レビューをしていなかったのか？ A. 市民参加型のレビューは策定時が初めてである。 ・資料もメールで、会議もオンラインで行ってもよいのでは。 A. メール送付や、オンラインも検討する。</p> <p>委員：100人委員会の無作為抽出の年齢層に偏りはあるのか？ A. 幅広い年代に参加していただいている。</p> <p>委員：行方市民は平均的に、表現が苦手な方が多い印象。民生委員の代表が、生活弱者の意見を吸い上げられるようにしたほうが良いのでは。</p> <p>委員：プライバシーの問題もあるが、民生委員が取りまとめて意見を反映することが必要であろう。</p> <p>委員：住民の意見を自分事には感心している。 ・分科会はどのような構成か？</p>

	<p>A. 3つの班に再構成して実施予定である。</p> <ul style="list-style-type: none">・100人委員会はどんな議論が展開されるのか？ <p>A. 今後協議しながら実施していく、実施した内容はHPなどで公開していく。</p> <p>委員：誰一人として取り残さないSDGsの推進と合わせてよいものにできれば。</p> <p>6. その他</p>
--	--